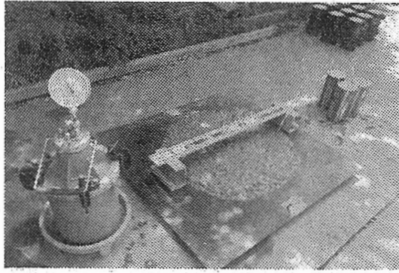


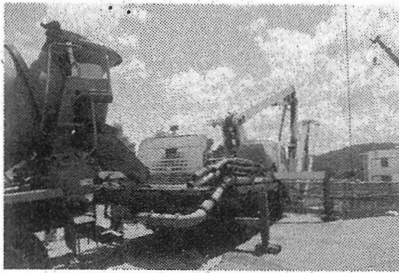
# 国交大臣認定の高強度商品

## 福井宇部生コンクリートが県内初

福井宇部生コンクリート(福井市上森田5丁目1105番地の1、南谷哲彦代表取締役社長)はこのほど福



井県内で初めて国土交通大臣認定の高強度・高流動コンクリートを納入した。今コンクリートの適



用は福井大学医学部付属病院の病棟新営工事における免震基礎で、国交大臣認定のコンクリート工場単独申請による製造出荷は県内初。写真。免震基礎とは免震建築物において最も重要な接合部で万一、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が発揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ

ートの間のコンクリートの品質は極めて重要で、この部分のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物におけるこの極めて重要な部分に同社の製品が県内で初採用となった。特長は高強度を満足するほか高い流動性と材料分離抵抗性

により振動や締固めを行わなくても型枠内に充填できる自己充填性を完備。県内ではこれまで、高強度を必要としない一般的な高流動コンクリートが免震基礎に多く適用されてきた。免震基礎における納入実績は県内では同社が最も多く、福井県立病院や民間病院、民間マンションなどで既に多くの実績を上げ、免震基礎のコンクリートについては他社の追随を許さないノウハウと多くの実績を有する。首都圏の大手建築設計事務所からも高い評価を得て今回適用さ

れた高強度・高流動コンクリートも施工者との技術協議で採用。同社の高強度・高流動コンクリートは09年5月に国交大臣認定を取得し建築基準法37条による大臣認定は県内初。それ以降、建築士や施工者から講習会の依頼も増え昨年も数回講習会を開催している。コンクリート診断士やコンクリート主任技士はもちろん、技術士(建設部門)や一級建築施工管理技士をも有する技術力を最大限に生かし、技術分野で他社との差別化を引き続き図りたい意向だ。